



所内 第12回 写真コンクール 参加作品「大谷石」応用地質部 安藤 武

大谷石

栃木県宇都宮市の大谷石である。石材として採掘され 年産60万トン以上(約27億円 昭和40年度)におよんでいる。主として 地下数10mから100m前後の深部で採掘されているが この写真のような露天掘りもみられる。第三紀中新世に生成された代表的な緑色凝灰岩(熔結凝灰岩の状態をなす)であり 無層理塊状の岩体として存在し 石材に適した多くの特徴をもっている。

拳大~胡桃大の「みそ」と称する包裹物に富んでおり 機械掘りによる採石跡が写真によく現われている。大きな空洞の発達に原因する落盤・陥没の公災害が問題とされるようになってきた。最近になって 地質測量によって抗内採石の実態が把握できるようになった。緑色凝灰岩や断裂系の研究に興味を引くものが多い。

地質調査所の出版物

・地質調査所月報第18巻第1号

報 文

安藤 武・岡 重文：大谷石の地質と採掘に関連する崩壊

概 報

奈良県宇陀郡室生村・山辺郡都祁村 村界地域の耐火粘土・珪石鉱床調査報告(塚脇・宮村)

地質調査所構内におけるS波速度の測定

(太田・嶋・柴藤・平沢・伊藤)

資 料

ARLカントメーターの光電分光法によるけい酸塩岩石の分析と標準岩石によるカントメーターの較正(一國訳)

地質ニュース No.147 (1966-11) 正誤表

P	側	行	欄	誤	正
3	右	上から9		海拔85.6m	海拔OP85.6m
6	"	" 15		中新層	中新統
7	左	" 8		橋枕岩	橋枕岩
8	"	" 7		各県	各府県
"	右	" 21		ゴトランド	ゴトランド
"	"	" 25		ゴドランド	ゴトランド
9	左	下から17		斑礫岩	斑礫岩
13	"	上から5		加佐町	大江町
24	"	下から1	マチカネワニ	(追記)	(大阪市立自然科学博物館提供)
26	右	上から14		(2)電源開発の	(1)電源開発の……
27	右		第V I-1表	北高	比高
"	"	下から1	入之波のダムの項	(地周月報……	(地調月報……
"	"		第V I-8図		
"	"		説明文		
28	左	上から9		258m ² /5	258m ² /5
"	"		第V I-10図		
"	"		説明文	最大浮	最大深
29	右		第V I-16図	照東層群	照東層群
30	左	上から11		古生層	古生代

地質ニュース

第150号 2月号

定価 ¥220 円12

昭和42年2月25日

発行

編集

工業技術院 地質調査所

発行人

林 久 雄

発行所

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段南4の2の12

Tel. (261) 7173・9387

振替口座 東京32466

総発売元

政府刊行物販売所

東京都千代田区大手町1の5

Tel. (211) 5570

印刷所

共同印刷株式会社